

安全データシート

製品名 シクロヘキサン

作成日 2011年1月19日

改訂日 2015年11月28日

1 化学名及び会社情報

化学品の名称	シクロヘキサン
会社名	京都電子工業株式会社
住所	京都市南区吉祥院新田二の段町 68
担当部門	品質保証部
電話番号	075-691-4121
FAX 番号	075-691-4127
緊急時の電話番号	075-691-4125
整理番号	GHS-0056

2 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分 2
健康に対する有害性	皮膚腐食性／刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2A-2B
	生殖毒性	区分 2
	標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分 2(血管系) 区分 3(気道刺激性、 麻酔作用)
環境に対する有害性	吸引性呼吸器有害性	区分 2
	水生環境有害性(急性)	区分 1

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

引火性の高い液体および蒸気
 皮膚刺激
 強い眼刺激
 生殖能力または胎児への悪影響のおそれの疑い
 授乳中の子に害を及ぼすおそれ
 血管系の障害のおそれ
 呼吸刺激を起こすおそれ、または昏睡およびめまいを起こすおそれ
 飲み込み、気道に侵入すると有害のおそれ
 水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。
 粉じん／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
 保護手袋および保護眼鏡／保護面を着用すること。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 環境への放出を避けること。
 妊娠中／授乳期中は接触を避けること。
 容器を密閉しておくこと。
 容器および受器を接地すること。

応急措置

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。吐かせないこと。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。衣類にかかった場合：直ちに汚染された衣服を脱ぐこと／取り除くこと。
 暴露した時、または気分が悪い時は医師の診断／手当てを受けること。
 火災の場合には、適切な消化剤を使用すること。
 漏出物を回収すること。
 換気の良い、冷暗所で保管すること。
 施錠して保管すること。
 法令に従って廃棄すること。

保管

廃棄

3 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 単一物質
 化学名(一般名) シクロヘキサン

成分名	含有量	化学式(構造式)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
シクロヘキサン	99.5%以上	C6H12	3-2233	110-82-7

GHS 分類に寄与する不純物 なし
 及び安定化添加物

危険有害成分

安衛法・毒劇法・化管法 シクロヘキサン
 該当有害成分

4 応急措置

一般的な措置	<p>被災者を新鮮な空気のある場所に移す。 被災者を温め、安静にする。 救急車を呼ぶ。 呼吸が停止しているときは人工呼吸を行う。 呼吸困難の時は酸素吸入を行う。 汚染された衣服や靴を脱がせ、別の場所におく。 漏洩物に触れたときは、直ちに流水で皮膚あるいは目を最低 20 分間洗浄する。 医師に暴露物質名、防護のための注意を通知する。</p>
吸入した場合	<p>吸入による事故の場合は負傷者を新鮮な空気のある場所に移し、休息させる。呼吸が弱かったり止まっている場合、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。</p>
皮膚に付着した場合	<p>皮膚を水と石鹸で洗う。</p>
眼に入った場合	<p>直ちに多量の水で洗い流し医師の診察を受ける。</p>
飲み込んだ場合	<p>水で口の中を洗わせただで、水を飲ませて希釈する。この液体は肺に入ると化学肺炎の危険が増すので、吐き出させてはならない。油性でない牛乳などの液体は吸収を遅らせる効果がある。</p>
応急措置をする者の保護	<p>救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどを着用する。</p>
医師に対する特別注意事項	<p>物質へ暴露(吸入、吸飲、皮膚接触)は遅効性の影響を生ずるおそれがある。 (シクロヘキサン)[ACGHI 2004] 中枢神経系</p>
5 火災時の措置	
消火剤	<p>注意:これらの物質は極めて引火点が高い。消火の効果が不十分なときは散水する。 火災の場合は泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用する。</p>
使ってはならない消化剤 火災時の特定危険有害性	<p>水を使用してはならない。 火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。 消化水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。</p>
特定の消火の方法	<p>速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、容器及び周囲に散水して冷却する。 消火作業は、風上から行う。 初期の火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消化剤などを用いて空気を遮断することが有効である。</p>
消火を行う者の保護	<p>消火作業従事者は、適切な保護具を着用する。</p>
6 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置 環境に対する注意事項	<p>関係者以外の立ち入りを禁止する。 適切な保護具を着用する。 流出した製品が、河川などに排出され、環境へ影響を及ぼさないよう注意する。</p>
回収、除去	<p>漏出源を遮断し、漏れを止める。 少量の場合、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。</p>

二次災害の防止法

関係者以外は近づけない。
 密閉された場所に入る前に換気する。
 すべての発火源を取り除く。(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)
 漏洩物を取り扱うとき用いるすべての設備は設置する。
 排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
 着火源を取り除くとともに換気を行う。
 着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取り扱い者の暴露防止)
 皮膚に付けたり、蒸気を吸入しないよう適切な保護具を着用する。
 火気に注意する。
 (火災・爆発の防止)
 静電気に対する予防措置を講ずる。
 取扱い中及び蒸気(臭気)がなくなるまでの間、パイロットバーナー、電気の着火源(スパーク及びニクロム線)その他のすべての着火源を除く。

注意事項

密閉された装置、機械、又は局所排気設備を使用する。取扱いは、換気の良い場所で行う。野外での取扱いはできるだけ風上から作業する。

安全取扱い注意事項

酸化剤と接触させない。
 容器に過度の衝撃を与える、転倒させる、落下させる、又は引きずるなどの粗暴な扱いをしない。

保管

適切な保管条件

直射日光を避け、密栓し冷暗所に保管する。

避けるべき保管条件

火気厳禁

安全な容器包装材料

ガラス等

8 暴露防止及び保護措置

設備対策

屋内作業場所での使用の場合は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明確に表示する。

管理濃度

未設定

許容濃度(暴露限界値)

日本産業衛生学会 1970 150 ppm; 520 mg/m³

ACGIH 2004 TWA: 100 ppm

保護具

呼吸器の保護具

空気呼吸器(SCBA)を着用する。
 有機ガス用防毒マスク

手の保護具

状況に応じて、ゴム製などの不浸透性の手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡又は安全ゴーグルを使用する。

皮膚及び身体の保護具

状況に応じて、ゴム製の前掛け、保護衣、長靴などの不浸透性の保護具を接触を避けるために着用する。

9 物理的及び化学的性質

物理的状态

無色透明の液体

臭い	特有臭
pH	データなし
融点・凝固点	7°C
沸点	81°C
引火点	-18°C (C.C.)
発火点	260°C
燃焼又は爆発範囲	下限 1.3vol% 上限 8.4vol%
蒸気圧	12.7kPa (20°C)
蒸気密度(空気=1)	2.9
比重(密度)	0.776~0.780 g/cm ³ (20°C)
溶解性	水に対する溶解性: 溶けない 溶媒に対する溶解性: アルコール、エーテルに混和する
オクタノール／水分配係数	3.4
分解温度	データなし
粘度	データなし

10 安定性及び反応性

安定性	予期される通常の保管及び取扱いの条件において安定と考えられる。
危険有害性反応可能性	酸化剤と接触すると反応することがある。
避けるべき条件	日光、熱、混触接触物質との接触
避けるべき材料	塩化ビニル樹脂、ポリスチレン、アクリル樹脂等
危険有害な分解生成物 (一酸化炭素、二酸化炭素 及び水を除く)	データなし

11 有害性情報

急性毒性	高濃度の蒸気は麻酔作用があり、蒸気を吸入すると、頭痛、めまい、嘔吐などを起こす
経口	ラット LD50 12.7 g/kg マウス LD50 813 mg/kg
局所効果	吸入や接触により皮膚や眼に刺激や炎症を起こすおそれがある。
感作性	データなし
慢性毒性・長期毒性	データなし
がん原性	IARC 及び NTP のリストに記載されていない。
変異原性	データなし
生殖毒性	データなし

12 環境影響情報

移動性	データなし
残留性・分解性	微生物などによる分解性はない。 0.6 % by BOD
生態蓄積性	魚介類の体内において、蓄積性がない、あるいは低いと判断される物質である。

濃縮性(倍率) コイ 31~102倍(0.1 mg/L)
37~129倍(0.01 mg/L)

生態毒性 水生生物に対して有害である。
魚毒性 ヒメダカ LC/48H 9 mg/L

13 廃棄上の注意

この可燃性物質は、アフターバーナー及び排ガス洗浄装置で焼却処理することが可能である。もしくは正式認可を得た処理業者に内容を明確に開示して処理を委託する。

14 輸送上の注意

国際規制

国連番号(UN No.) 1145
国連分類(Class or Div.) 3
容器等級(Packing group) II
適切な積荷名称 Cyclohexane

使用者が構内若しくは構外の輸送若しくは輸送手段に関連して知る必要がある、又は従う必要がある特別の安全対策

運搬に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
火気厳禁。

15 適用法令

毒物及び劇物取締法	該当しない
労働安全衛生法	施行令別表第1危険物4引火性の物(-30°C=<引火点<0°C) 法第57条の2、施行令18条の2別表第9名称等を通知すべき危険物及び有害物
船舶安全法	引火性液体類
航空法	引火性液体
化学物質管理促進法	該当しない
港則法	引火性液体類
海洋汚染防止法	施行令別表第1有害液体物質(Y種)
消防法	法第2条危険物別表第4類引火性液体:第1石油類 非水溶性液体:(指定数量)200L危険等級II

16 その他の情報

引用文献

製品安全データシート GHS-10023-1 シクロヘキサン(ナカライテスク株式会社)

記載内容の問い合わせ先

担当部門 品質保証部
電話番号 075-691-4125
FAX番号 075-691-9536

※ 記載された内容は、一般的に入手可能な情報やメーカー所有の知見によるものですが、すべての資料及び文献を調査したのではなく、含有量、物理化学的性質、危険有害性などに関しては、いかなる保証をなすものではありません。従って、ここに記載した製品の取扱い又は保管時における事故に対して責任を保証するものではありません。又、新しい知見によって改定されることがあります。



2015年11月28日

※ 記載された注意事項は通常の実用を前提としたものですので、特殊な取扱いの場合には、十分な安全対策を実施の上、ご利用ください。

以上